

告 知 事 項	
1選挙期日の告示 京都選管告示第2号 2025年8月22日 京都選挙区選挙管理会 このたび、宗議会議員選挙条例第40条第1項により、下記のとおり総選挙を実施するため、同条例第47条第1項により告示する。 記 1 選挙の期日2025年9月15日 2 立候補の届出期間2025年8月25日から8月27日まで 3 選挙運動の期間立候補届出の日（受理後）から9月11日まで	4候補者の告示③ 京都選管告示第6号 2025年8月25日 京都選挙区選挙管理会 来る2025年9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名三品 正親 2 所属する寺院の名称近江第4組 蓮生寺 3 所在地滋賀県守山市三宅町1029番地
2選挙係の選定 京都選管告示第3号 2025年8月22日 京都選挙区選挙管理事務長 宮戸 弘 来る9月15日施行の宗議会議員選挙の選挙係について、下記のとおり選定したので、宗議会議員選挙条例第29条により告示する。 記 選挙係白河 祐亮 同上矢木 春香 同上今津 真人 同上松扉 達 同上仁 宗寿 同上吉田 光信	4候補者の告示④ 京都選管告示第7号 2025年8月25日 京都選挙区選挙管理会 来る2025年9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名大橋 秀暢 2 所属する寺院の名称山城第2組 妙誓寺 3 所在地京都府京都市左京区下鴨泉川町36番地の21
3選出すべき議員の定数6人	
4候補者の告示① 京都選管告示第4号 2025年8月25日 京都選挙区選挙管理会 来る2025年9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名伊吹 惠鐘 2 所属する寺院の名称長浜第21組 本覺寺 3 所在地滋賀県長浜市小谷丁野町848番地 4 推薦届出人の氏名美濃部 俊裕	4候補者の告示⑤ 京都選管告示第8号 2025年8月26日 京都選挙区選挙管理会 来る2025年9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名竹内 彰典 2 所属する寺院の名称近江第25西組 正通寺 3 所在地滋賀県高島市マキノ町白谷308番地
4候補者の告示② 京都選管告示第5号 2025年8月25日 京都選挙区選挙管理会 来る2025年9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名東野 文恵 2 所属する寺院の名称長浜第14組 徳明寺 3 所在地滋賀県長浜市石田町666番地 4 推薦届出人の氏名安倍 彰雄	4候補者の告示⑥ 京都選管告示第9号 2025年8月27日 京都選挙区選挙管理会 来る2025年9月15日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第51条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名椋田 隆知 2 所属する寺院の名称山城第1組 光徳寺 3 所在地京都府京都市南区唐橋高田町52番地 4 推薦届出人の氏名村上 宗博
	5無投票の告示 京都選管告示第10号 2025年8月30日 京都選挙区選挙管理会 来る9月15日施行の宗議会議員選挙は、宗議会議員選挙条例第69条第1項により投票を行わないこととなったので、同条例2項により告示する。

京都選挙区宗議会議員選挙公報		京都選挙区選挙管理会
1 議員候補者の氏名伊 吹 恵 鐘 2 所属する寺院の名称及び所在地 本覚寺（長浜第2 1 組）滋賀県長浜市小谷丁野町8 4 8 番地 3 被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第2 条第1 項第1 号 4 立候補の趣意 A I に象徴されるように科学技術の想像を絶する進化とその便利な成果を享受することによって、これまでの価値観や社会の仕組みが一変しようとしています。こうした潮流はもはや止めることは出来ないと思われます。しかし一方で人間はどうなってしまうのかという限りない不安に苛まれており、やがてそれは、「人間とは」「人として生きるとは」といった根本的な問いへと向かいます。そしてその問いに応え得るのは宗教教団であり、その使命は高まって来るでしょう。しかしその宗教教団も、人々の宗教離れ、寺離れといった今日の社会現象の中で経済的に疲弊の一途をたどっています。 私たちの宗門もそうした大きな時代社会のうねりの中で、宗務改革を断行していこうとしていますが、単に経済的な面に囚われるのではなく、激しく移り変わる社会状況、時代の流れの中で、寺院・教団の使命を再確認し、社会のニーズに応え得るべく変革を成し遂げていかねばなりません。そうしたことを背景に、今回二期目に立候補するに当たって、私は次のことを中心にと考えております。	1．人材（財）の発掘・育成・登用 時代に応え得る宗教教団と成るべく、幅広い分野から様々な知識や経験を持った人を発掘、育成そして登用して、柔軟な教義、教団を構築していく必要があります。 2．地域固有の「功德」の再発見 念仏の伝統は、それぞれの地域の歴史風土の中で、脈々と醸成・伝承されてきたもので、地域のDNA といってもいいかも知れません。そしてそのDNA は「土徳」「功德」といってもいいと思います。その功德を今一度確かめる中に、いかなる時代にあっても人として生きていける道をたずねていけるのではないのでしょうか。 3．地域の中心道場としての別院の再生 全国にある別院は「御坊さん」と親しまれ、真宗門徒に限らず、いつの時代でも地域の人々の心の拠り処でした。この別院を中心に人の発掘・育成を進める中、本山と一般寺院三位一体の新たな教化体制を構築して別院を再生していかねばなりません。	
1 議員候補者の氏名東 野 文 恵 2 所属する寺院の名称及び所在地 徳明寺（長浜第1 4 組）滋賀県長浜市石田町6 6 6 番地 3 被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第2 条第1 項第1 号 4 立候補の趣意 改 革 統 行 ！ この度、安倍彰雄氏（近江八幡市 圓願寺住職）のご推薦を頂き、宗議会議員選挙に立候補いたしました。 世の中はコロナ、戦争、関税、酷暑と、自然環境も人間社会も激変の様相を呈しています。今、私共の宗門も大きな変化を遂げなければなりません。既に、組織の効率化、財政負担の平等化、教学の現代化などを中心に行財政改革は始まっています。 この行革を一層深化させたく、私は次の3 点を宗政上の課題と考えています。 1、個人主義の現代だからこそ、仏様や教えを尊重するだけでなく、教えに生きている得道の人々を尊敬しなければ、「帰依三宝」の仏教にはなりません。私は特にこの「帰依僧」を通して、専修学院・是旃陀羅・ハラスメント等の問題にあたります。 2、懇志教団であることを常に自覚しつつ、宗派の有形無形の文化財、並びに遊休資産などの活用を通して財政の安定化を進めます。さらに私は、人口	減少を指数化し、御依頼の平準化の要素とします。これらのご懇志をもって聞法教団の実を上げていきます。 3、効率化は費用対効果や、時間の節約などを第一義にすることです。しかし私は、信仰の世界では、多様性を保つという意味で女性の組会や教区会での活躍、長い時間軸を取らなければならない青少年教化に注力することが、結果として宗門の力を増強する真の効率化だと考えています。 私はこのように「人」を尊重尊敬するという視点をもって、宗政に当たります。 親鸞聖人の「浄土真宗」はその当時、仏教を破壊するかのごとく批難されたようですが、むしろ釈尊の教えを通して、その根源である如来の本願に帰依せられた仏教であることは明らかなことです。 改革は古いことをやめて、新しくすることだとの受け止めもありますが、親鸞聖人の教えにならって、改革することが宗門の本来に帰る道だと私は受け止め、濁りの世となった現代社会にあって、「生きる力を親鸞聖人からいただきました」という人がたくさん誕生する教団となるため、宗門改革を着実に実行していきたいと考え、立候補いたしました。 あたたかいご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。	
1 議員候補者の氏名三 品 正 親 2 所属する寺院の名称及び所在地 蓮生寺（近江第4 組）滋賀県守山市三宅町1 0 2 9 番地 3 被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第2 条第1 項第3 号 4 立候補の趣意 今年の夏は尋常でない猛暑の日が続き、皆様方には日々の御法務、誠にご苦労くださったことと思います。 この度、真宗大谷派宗議会議員任期満了に伴い、宗議会議員選挙が行われます。不肖未熟の身ではありますが、立候補いたしたく皆さまにご挨拶申し上げます。 振り返れば2 期8 年多くの方々のご支援をいただき宗議会に立たせていただきました。おかげをもちまして1 期なかばより、但馬宗務総長より指名を受け参務の重責を約2 年足らず経験させていただきました。ご存じの通り新型コロナウイルスの一番ひどいときでした。何もかも今までに経験の無い事ばかりでしたが、なんとか、次の内局にバトンタッチいたしました。2 期目の中心の取り組みはやはり、2 0 2 3 年に宗祖親鸞聖人御誕生8 5 0 年・立教開宗8 0 0 年慶讃法要が勤まったこと、そして2 0 2 4 年7 月新京都教区になり、宗門の行財政改革のスタートラインに立ったことです。さらに、能登半島地震の復興への取り組みなど、課題は山積しております。 今期委員会調査研究で知れたことは、昨年の大谷派の教師資格取得者の数が	2 0 年前の約半分になっていること。加えて大谷派の大切な教師養成機関である大谷専修学院が生徒募集を休止したことです。このままいくと大谷派は、いよいよ縮んでいくこととなります。本山の行財政改革はとても大切なことです。が、並行して「人の育成」をどうするか早急に考えないといけないと思います。議会でも質問しましたが、通信教育、インターネットによるe ラーニングに取り組むよう進めてまいりたいと思っております。教師養成を主たる目的とはいたしますが、親鸞聖人の教えを学びたい一般の人たちへの学びの場となります。もちろん教師検定試験はしっかり行うことで教師の質の低下を防ぎます。これを大谷大学と連携して行う事により、大学の学生募集にもつながり、お寺の後継者を産むことになり、解散寺院を減らすことにもつながります。財政面からも、当初の投資はいりますが、投資以上に受講費等によって入ってくるとみこまれます。通信教育は一つの課題ですが、3 期目は人の育成に力を注ぎたいと考えております。子ども達を含め人の育成こそ宗門の大きな仕事だと思っております。 皆さまのご支持ご支援をよろしく願いいたします。	

京都選挙区宗議会議員選挙公報				京都選挙区選挙管理会	
1	議員候補者の氏名	おおはしひでのぶ 大橋秀暢		の交流を通して、現代社会を生きる人間の課題に応え続ける「同朋教団の確立」を願い、ひいてはそれらが、教勢拡張にも繋がっていく、責任ある、着実な宗門改革に微力を尽くしていく所存であります。どうか皆様のご指導、ご鞭撻、ご支援をよろしくお願い申し上げます。 ◆実現したい具体的な施策 本廟境内及び周辺建物の有効利用・賑わい作り （渉成園・市民広場・内事建物・高倉会館・重信会館） 新しい御縁作り （都市開教・大谷祖廟・別院の活用） インターネットスクールを創設 （親鸞入門講座から教師資格取得までをカバーする） 離脱寺院の復籍を促す 【経歴】 昭和三十九年 滋賀県生まれ 滋賀県立虎姫高校卒 京都大学経済学部卒 宗議会議員六期 真宗本廟両堂等御修復委員会 委員長 等	
2	所属する寺院の名称及び所在地	妙誓寺（山城第2組）京都府京都市左京区下鴨泉川町36番地の21			
3	被選挙資格の区分	宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号			
4	立候補の趣意	思い起こせば、皆様のお力添えのもと初めて宗議会へお送りを頂いて以来二十四年。この間に痛感するのは、宗憲前文に高く掲げられた宗憲の精神や議員活動を通して諸先輩から伝えられた多くの教えを伝える事の難しさです。 この経験を活かし、同朋会運動の推進に微力ながら貢献することを願って、また、推薦のお声も重ねて頂戴いたしましたので、立候補させて頂きました。 コロナウィルスの影響はおさまってきましたが、仏事離れ、寺離れの傾向がさらに加速した感があります。 こうした状況に怯むことなく、各寺院に於いて、「新たなご縁づくり」の活動が必要です。私自身、十一年前から、阿弥陀如来の慈悲と智慧を表現する、寺院をベースとした、福祉事業に取り組み、現在までにいくつかの事業所を運営するに至り、「新たなご縁作り」という点で大きな手応えを感じています。 また、宗門、別院の発信力を持って、親鸞聖人の浄土真宗を広く社会に訴え、それぞれの寺院活動を下支えしていくことが必要です。 私は再度、宗議会議員という重責を担わせて頂き、宗門内外の多様な人々との交流を通して、現代社会を生きる人間の課題に応え続ける「同朋教団の確立」			
1	議員候補者の氏名	たけうちあきのり 竹内彰典		共済を国の法律に則った認可共済か保険にしたいと思います。 また今の時代、財政、他宗派との交流や、宗議会議員定数削減の問題等、数多くのことがございます。何卒四期目の立候補をお許しいただき、ご指導ご支援くださいますよう心よりお願い申し上げます。 略歴 1961年（昭和36年）生 京都教区教区会 議長 全国教区会正副議長会 会長 2013年 宗議会 制度機構専門委員会主査 宗務審議会 過疎問題に関する委員会 委員 2020年 宗議会 宗政調査会 同朋社会専門委員会主査 2021年 第70回宗議会 決算委員会 委員長 2021年 財産管理審議会 委員 現）宗議会 副議長 現）宗務審議会 真宗本廟を中心としたグローバルデザインに関する委員会 委員 現）宗務所及び視聴覚ホールの営繕に関する委員会 委員	
2	所属する寺院の名称及び所在地	正通寺（近江第25西組）滋賀県高島市マキノ町白谷308番地			
3	被選挙資格の区分	宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号			
4	立候補の趣意	教区内皆様には日頃より何かとご指導ご支援を賜り、その上宗門護持に対しましてご協力をいただき、心より御礼申し上げます。 1995年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震、2024年に発生しました能登半島地震はじめ、今日も感染が増加している新型コロナ感染症などで大切なお命を亡くされました方々に衷心より哀悼の意を表し、今もなお苦しまれ、ご苦労されていらっしゃる方々にお見舞い申し上げます。 さて、皆様のおかげをもちまして宗議会三期目を終えようとしております。この度四期目の立候補を決めさせていただきました。何よりもこれだけ多くの災害が発生しており南海トラフ巨大地震も心配されている今日、本山共済の問題点が特に気になります。 京都教区の議長を務めさせていただいている頃より、本山共済は一カ寺のみの火災に対してはとても良い共済だと思っておりますが、上記のような大震災となると問題が多い気がいたします。本山共済が金融庁等からの許可を得ていない共済であることは各ご寺院はご存じでしょうか。許可を得ていない共済では今後宗門も一般ご寺院も困ることがあるのではないかと思います。まずこの			
1	議員候補者の氏名	むくだたかとも 栢田隆知		★宗門の持続可能な運営体制づくりに、全力で責任を果たします！ 私は、国会議員同朋の会代表のご協力のもと、国の補助金も活用し、京都市初の市民緑地であるお東さん広場設置や、阿弥陀堂門・鐘楼・手水屋形修復事業のお手伝いをさせて頂きました。これは重要文化財指定によって宗派負担が半減され実現しました。また、内事3棟・殿舎群14棟も重文指定により、今後の修復も宗派負担の軽減が可能となります。 ★一党一派に属さない、真の同朋公議を今後とも目指します！ 私は、現在どの会派にも属さない無所属議員であります。一般的には最大会派や与党に所属しなければ、政策や施策の実現が難しいとされております。しかしながら、当局行政提案に是々非々で対応し、議論や交渉を通じて丁寧に説明を尽くし、提案を重ねることによってそれらは実現可能であります。また、自坊光徳寺が母体となって設立された（社福）優応会共栄保育園・みのり園の経営・運営責任者であり、本山所在の自治体である京都市会議員でもありますので、宗務審議会真宗本廟を中心としたグローバルデザインに関する委員会会長として、東本願寺たかくらこども園誕生の一翼も担わせて頂きました。 再度職責をお与え頂きましたならば、教区・各組の声を宗政に反映させ、具体的且つ明解な施策の実行・実現を目指し、全力を尽くして参る覚悟であります。 皆様のご理解と賢明なるご判断をお願い申し上げます。合 掌 <u>b i o : S 3 9 (1 9 6 4) 年生</u> <u>（公社）大谷保育協会理事 （公社）京都市保育園連盟理事</u> <u>関西広域連合議会議員 京都市都市計画審議会委員他 現任</u>	
2	所属する寺院の名称及び所在地	光徳寺（山城第1組）京都府京都市南区唐橋高田町52番地			
3	被選挙資格の区分	宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号			
4	立候補の趣意	私は、9月15日実施の宗議会議員総選挙に、下記の事由を基本に立候補致しました。			
★普通寺院・教会、所属門徒の負担軽減のため、宗派所有財産の有効活用をさらに一層推進します！ 私は、今任期に至るまで推し進めてきた宗派所有財産の有効活用に引き続き取り組んで参ります。実例として、財産管理審議会で深い議論を重ねて参りました聖護院別邸跡地や旧了徳寺跡地の活用は、一時金としても宗派単年度予算に比して大きな収入であり、また今後想定される人口減少社会に耐えうる収入の確保にも資しています。 その上、病気に向き合う子どもが家族とともに滞在治療ができるドナルド・マクドナルド・ハウス 京都や、不足する慢性期治療に対応できる京都大原記念病院は、山間地から移転されるため、宗派の社会貢献としても注目されています。					